

センター日本史直前予想問題 NO2 学研プライムゼミ編集編

問 25

奈良時代の政争について述べた文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X 恵見押勝の乱の鎮定後に即位した称徳天皇は、僧道鏡を重用した。
Y 式家の藤原広嗣は、吉備真備・玄昉の排斥を求めて京で蜂起した。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

問 25 正解は②

X

正文。

760年代には、孝謙太上天皇の病を治癒させた僧道鏡が急速に勢力を強めた。

光明皇太后の死(759)により勢いが失速していた恵美押勝(藤原仲麻呂)は764年に蜂起したものの失敗し、この恵美押勝の乱鎮圧を機に孝謙太上天皇は重祚して称徳天皇となり、また道鏡も太政大臣禪師、さらには法王へと異例の出世を遂げた。

Y

誤文。

「京で蜂起した」の部分が誤り。

藤原広嗣(式家、宇合の子)は、740年、吉備真備・玄昉の排斥を求めて九州の大宰府で蜂起した。

問 26

福沢諭吉について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 『文明論之概略』を著し、個人と国家の独立のためには、西洋文明の摂取が不可欠であるとした。
- ② 日本にやってきた外国人から得た知識をもとに『西洋紀聞』を著し、西洋の地理・風俗を紹介した。
- ③ 『自由之理』や『西国立志編』などを翻訳し、明六社の一員として啓蒙思想の普及に尽力した。
- ④ ルソーの著作を『民約訳解』で紹介し、人民主権説を日本に紹介した。その功績により「東洋のルソー」といわれた。

問 26 正解は①

②は新井白石、③は中村正直、④は中江兆民についての説明。

問 27

満州事変の勃発から太平洋戦争の終結までの一連の戦争を、十五年戦争と総称することがある。

この十五年戦争期に含まれる出来事として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 満州某重大事件が発生した。
- ② 日本が国際連盟に脱退を通告した。
- ③ 日ソ中立条約が締結された。
- ④ 大東亜会議が開催された。

正解は①

十五年戦争期は、「満州事変の勃発(1931.9)から太平洋戦争の終結(1945.8)まで」。

① 「満州某重大事件」(張作霖爆殺事件)の発生は1928年のこと。

問 28

織田信長がとった行動や政策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 方広寺の大仏造立の名目で、農民から武器を没収した。
- ② 各地の一向一揆の中心になっていた延暦寺を屈服させた。
- ③ 信長の天下統一事業は、本能寺の変により挫折を余儀なくされた。
- ④ 関所を新設し、安土城下では商工業者の自由な取引を制限した。

正解は③

① この一文は、豊臣秀吉が実行した刀狩令をさす。

② 「各地の一向一揆の中心になっていた」のは、石山本願寺。

④ 織田信長は、「商工業者の自由な取引」を保障する政策(楽市令)をとり、関所の撤廃を推進した。

問 29

1960年代以降の内閣が総辞職した事情に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

Ⅰ この内閣は、沖縄の日本復帰実現を機に総辞職した。

センター日本史ファイナル

- Ⅱ この内閣は、政治資金などをめぐる金脈問題を追及されて総辞職した。
Ⅲ この内閣は、オリンピック東京大会を成功させて総辞職した。

- ① I—Ⅱ—Ⅲ
② I—Ⅲ—Ⅱ
③ Ⅱ—I—Ⅲ
④ Ⅱ—Ⅲ—I
⑤ Ⅲ—I—Ⅱ
⑥ Ⅲ—Ⅱ—I

正解は⑤

Ⅲ

池田勇人内閣（1960.7～1964.11）は、60年安保闘争によって日本の社会に大きな亀裂が走った直後に成立した。

「寛容と忍耐」をスローガンにした池田内閣は、こうした事態に対処するために「政治の季節から経済の季節へ」の転換を図り、所得倍増計画を決定した。

また、中華人民共和国との貿易拡大をめざす（LT貿易）とともに加えて、一連の貿易自由化措置も推進し、東海道新幹線（東京—大阪間）が開通した1964年、オリンピック東京大会の成功を機に総辞職した。

I

佐藤栄作は、岸信介の実弟で、吉田茂のもとで政治家としての地歩を固め、1964年に池田勇人内閣を後継した。

佐藤栄作内閣（1964.11～1972.7）は、高度経済成長の継続などを背景に、7年8カ月におよぶ長期政権になった（連続在任期間は戦前・戦後を通じて最長）。

Ⅱ

1972年、佐藤栄作内閣が退陣すると、田中角栄内閣（1972.7～1974.12）が成立した。

田中角栄首相は、対外面では日中共同声明発表などの成果をあげたが、国内面では「列島改造」政策を打ちだすなかで第1次石油危機に遭遇した。

戦後初のマイナス成長を記録した1974年に、田中首相は政治資金と個人資産をめぐる金脈問題を追及され、辞意表明を余儀なくされた。

つづいて成立した三木武夫内閣（1974.12～1976.12）の時には、1976年にロッキード事件が発覚。それは田中前首相の逮捕という重大な事態に発展していくことになった。

問 30

古学派の活動や業績について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 古学を本格的に創始したことで知られる山鹿素行は、『聖教要録』を刊行して朱子学を批判したため、赤穂に配流された。
② 伊藤仁斎・東涯父子は、京都堀川に私塾古義堂を開設し、堀川学派あるいは古義学派と呼ばれる古学の一大勢力を形成した。
③ 江戸に私塾護国塾を開設したことで知られる荻生徂徠は、徳川吉宗の諮問に応じて『政

Pain is inevitable Suffering is optional

談』を著した。

④ 石田梅岩がとなえた思想は、商業の正当性や存在理由などを強調したため、京都やその周辺の富裕な町人層に支持された。

正解は④

④ この文章は心学についての説明になっている。

心学とは、18世紀前半に京都の石田梅岩が創始した庶民教化の思想。

問 30

鎌倉時代の地方社会のようすについて述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

① 畿内や西日本一帯では麦を裏作とする二毛作が普及していった。

② 寺社の門前に行商人があらわれ、生産された物資を売買する定期市も開かれた。

③ 農民たちの自治的な結合が進んで、畿内各地に惣村が形成された。

④ 畿内周辺では新興武士たちが荘園領主の支配に対抗し、悪党と呼ばれた。

正解は③

③ 畿内における惣村の形成は、室町時代にはいつから広くみられるようになった。

ただし、阿弖河（あてがわ）荘民の訴状にみえるように、鎌倉時代においても荘園内の百姓が団結して地頭の支配に抵抗する動きがあったことには注意しておきたい。

問 31

マッカーサーによる五大改革指令の内容に関して述べた次の事項 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- a 教育制度の自由主義的な改革
b 重要産業部門の傾斜生産
c 公職からの共産主義者の追放
d 労働組合の結成奨励

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d

正解は②

② b は第1次吉田茂内閣のもとで決定された傾斜生産方式（経済民主化政策ではなく経済復興策）のことをさし、また c はレッド=パージと呼ばれ、対日占領政策転換後に GHQ によって実行された。

太平洋戦争は、しばしば「聖断」と形容される昭和天皇の積極的な権力行使を経て、日本のポツダム宣言受諾により終結した。

センター日本史ファイナル

原爆の投下と(□□□)の参戦とによってすでに日本の敗北は明白になっていたため、徹底抗戦を叫ぶ陸軍も天皇の決断にしたがうしかなく、大多数の国民は焦土と飢餓のなかで茫然と立ちつくした。

問 32

空欄(□□□)にあてはまる国との関係について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① この国との国交樹立は、治安維持法の制定と同じ年の出来事だった。
- ② この国との間で1930年代末にノモンハン事件が発生し、関東軍は大打撃をうけた。
- ③ 日独伊三国同盟は、この国を事実上の仮想敵にした国際的取り決めだった。
- ④ 「帝国国策要綱」を決定した日本は、この国を対象にして関東軍特種演習を実施した。

正解は③

空欄(□□□)にあてはまる国はソ連。

- ③ 1940年9月に成立した日独伊三国同盟は、アメリカの参戦を抑止することを意図したものだ。

問 33

下線部に関連して、敗戦直後の日本の経済・社会情勢について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 失業者があふれ、各地に露店形式の闇市が乱立した。
- ② 復員や引揚げがあいついだため、人口が急増した。
- ③ 預貯金引出しを抑制するための法令が発せられた。
- ④ 多くの人々が購買力を失い、デフレが進行した。

正解は④

- ④ 敗戦直後の時期には、決定的な物不足の一方で、戦争中の巨額の軍事支出の表面化、赤字財政の継続、預貯金引出しの急増などにより、インフレが劇的に進行した。

問 34

1930年代なかばに天皇機関説排撃運動が展開された。

この学説が排撃された理由に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 天皇機関説は、政党内閣の慣行を支える理論的な基礎になっていた。
- ② 天皇機関説は、戦争を放棄するという理念を掲げていた。
- ③ 天皇機関説は、デモクラシーの訳語として民本主義の語を用いていた。
- ④ 天皇機関説は、「国体」の変革や私有財産制度の否認をめざしていた。

正解は①

- ② 「戦争を放棄するという理念」を掲げた条約には、1928年の不戦条約がある。

Pain is inevitable Suffering is optional

この条約は、国際紛争解決のための戦争をおこなわないこと、国家の政策の手段としての戦争を放棄することを「人民の名」において宣言したもので、戦争を違法化する点で画期的な意義を有していたが、一方で条約違反国への制裁規定がないなど、条約の実効性には当初から大きな限界があった。

- ③ 「民本主義」は政治学者の吉野作造が提唱した。デモクラシーの訳語として主権の所在を問わない「民本主義」の語を採用した吉野は、この民本主義を明治憲法の枠内で民主主義を徹底するための政治理念として普通選挙・政党内閣の実現などを主張した。

- ④ 1925年に制定された治安維持法によって、『国体』の変革や私有財産制度の否認をめざす社会主義運動は、懲役または禁錮10年以下の刑に処せられることになった。この『国体』の変革とは、コミンテルンの指導下で君主制廃止を掲げる日本共産党の動きを対象にした表現で、当初は天皇制打倒を意味していた。

問 35

儒学を重視した徳川綱吉の政策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 林信篤を大学頭に任じ、湯島聖堂を建設した。
- ② 聖堂学問所に異学の禁を通達し、統制を図った。
- ③ 朝鮮通信使に対する待遇を簡素化した。
- ④ 公事方御定書の制定など法制の整備に努めた。

正解は①

- ②は寛政の改革、③は正徳の政治、④は享保の改革の際の政策。

問 36

江戸時代の日本では、綿織物業もマニファクチュア段階に到達した。

このマニファクチュアについて述べた次の文章の空欄(□□□)にあてはまる語句として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

マニファクチュア(工場制手工業)とは、地主や問屋商人が家内工場を設け、機械ではなく道具を使用して、(□□□)により商品を生産する形態をいう。江戸時代には、農業から離れた奉公人のほか、女性や子どもが賃金労働者として雇われることも多かった。

- ① 専売と独占
- ② 契約と強制
- ③ 集中と選択
- ④ 分業と協業

センター日本史ファイナル

正解は④

④ マニファクチャ形態では、生産工程を細分化し、分業と協業を組み合わせることで生産の効率化が図られた。

問 37

中世の寺社勢力について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 武装した下級僧侶を僧兵として組織した。僧兵には地方武士出身のものが多かった。
- ② しばしば神木や神輿を先頭に立てて朝廷に強訴して、自らの要求を通そうとした。
- ③ 京都近郊の寺社は本所として座を保護しており、経済的な利益を得ていた。
- ④ 京都近郊の最大の寺社勢力だった興福寺は、織田信長によって焼打ちされた。

正解は④

④ 織田信長が焼打ちしたのは延暦寺。

問 38

地租改正事業を通じて基幹の税として徴収されるようになった地租は、たとえばインフレが進行して米価などが上昇した場合、政府、地主と自作農、小作農の3者にどのような経済的影響をもたらすと考えられるか。

もっとも有利なものを○、中位のものを▽、不利なものを✕とした場合の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 政府→○ 地主と自作農→▽ 小作農→✕
- ② 政府→▽ 地主と自作農→○ 小作農→✕
- ③ 政府→▽ 地主と自作農→✕ 小作農→○
- ④ 政府→✕ 地主と自作農→○ 小作農→▽

正解は④

④ 「インフレが進行……した場合」、物価・人件費などの上昇（支出増）に直面する「政府」にとって、定額の地租は実質的な減収効果をもつ（「不利」＝✕）。

一方、「地主と自作農」にとっては、米の売却代金などが上昇する（収入増）にもかかわらず、地租は定額・金納であるため、その負担は実質的に軽減される（「有利」＝○）。

これに対して、「小作農」の場合は、インフレによる生活難が生じる可能性はあるが、地主に高率の現物小作料を支払う存在であって地租負担者ではないため、米価上昇の直接的な影響はうけない（「中位」＝▽）。

問 39

南北朝期の文化について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 将軍足利尊氏の保護をうけて観阿弥・世阿弥父子が猿楽能を完成した。
- ② 簡素な茶室において心の静けさを楽しむ侘茶が流行した。

Pain is inevitable Suffering is optional

③ 上の句と下の句を次々と歌いついでゆく連歌が流行し、『犬筑波集』が編纂された。

④ 軍記物語の『太平記』や南朝の正統性を主張する『神皇正統記』が著された。

正解は④

- ① 観阿弥・世阿弥父子を保護したのは足利義満。
- ② 侘茶は東山文化期に村田珠光が創始した。
- ③ 『犬筑波集』（連歌集）が編纂されたのは戦国期のこと。

問 40

室町時代における銅銭や陶磁器について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 室町幕府による統一的な貨幣の鑄造はみられなかった。
- ② 室町時代には、粗悪な私鑄銭も流通して取引の障害になった。
- ③ 中世における大陸との交易を通じて陶磁器などが輸入された。
- ④ 室町時代には、有田・平戸などで国産の陶磁器も作られた。

正解は④

④ 有田焼などの国産陶磁器は、壬辰・丁酉倭乱（文禄・慶長の役）の際に西国大名が連れ帰った朝鮮陶工たちによって焼き始められた。

問 41

第二次世界大戦後に形成された企業集団について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 三井・三菱など、銀行を中心にして形成された企業集団を六大企業集団という。
- ② 六大企業集団は、戦前の財閥の姿に類似したピラミッド型の企業群を形成した。
- ③ 形成された企業集団は、主要な産業部門に進出して系列企業を組織していった。
- ④ 企業集団内での系列取引などは、のちに閉鎖的な商慣行として批判の対象とされた。

正解は②

② 戦前の財閥が持株会社を頂点としたピラミッド型の企業群を形成したのに対して、戦後の企業集団は相互に対等な諸企業による同格の連合体だった。

問 42

1930年代の軍部の行動に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 満蒙国境のノモンハンでソ連軍と大規模な戦闘をおこなった。
- Ⅱ 海軍の青年将校らが国家改造を唱えて首相を暗殺した。
- Ⅲ 陸軍皇道派の青年将校らが首相官邸・警視庁などを襲撃した。

センター日本史ファイナル

- ① I - II - III
- ② I - III - II
- ③ II - I - III
- ④ II - III - I
- ⑤ III - I - II
- ⑥ III - II - I

正解は④

II

「海軍青年将校の一団が国家改造を唱えて首相を暗殺した」五・一五事件は、1932年に発生。

III

「陸軍皇道派の青年将校らが首相官邸・警視庁などを襲撃した」二・二六事件は、1936年に発生。

I

ノモンハン事件の発生は1939年。

問 43

平安時代に生じた混乱に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- I 大宰権帥藤原隆家が博多湾で女真人の侵入を撃退した。
- II 大宰府を焼打ちにした藤原純友の反乱が鎮圧された。
- III 醍醐天皇の子である源高明が大宰権帥に左遷された。

- ① I - II - III
- ② I - III - II
- ③ II - I - III
- ④ II - III - I
- ⑤ III - I - II
- ⑥ III - II - I

正解は④

問 44

三・一独立運動が発生したころの国際情勢に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- X 第一次世界大戦が終結し、ワシントンで講和会議が開かれた。
- Y 中国では五・四運動が発生し、日本商品ボイコット運動が広がった。

- ① X 正 Y 正
- ② X 誤 Y 正
- ③ X 正 Y 誤
- ④ X 誤 Y 誤

Pain is inevitable Suffering is optional

正解は②

X

「ワシントン」の部分が誤り。

1918年、アメリカ・イギリス・フランス・日本などの連合国側が勝利するかたちで第一次世界大戦が終結し、翌年、パリのヴェルサイユ宮殿で講和会議が開かれた。ここでヴェルサイユ条約が結ばれ、ヨーロッパでは、敗戦国ドイツを封じこめるため、アメリカ大統領ウィルソンが提唱してきた民族自決などを一応の原則とする新しい国際秩序が形成された（ヴェルサイユ体制）。

問 45

守護とその成長について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 当初、守護は有力御家人から任命され、原則として国ごとに設置された。
- ② 承久の乱後、守護には新補率法が適用されるようになった。
- ③ 御成敗式目には、大犯三カ条などの守護の職務が規定されている。
- ④ のちに守護は、半済などの権限を得て、その存在感を強めていった。

正解は②

② 「守護には新補率法が適用される」の部分が誤り。

新補率法は、承久の乱後に新たに現地に派遣される地頭と荘園領主との間の紛争を避けるために定められた、地頭の給与についての規定。

STEP2 私大対策

昭和の政治と外交満点シート

首相と政党名が絶対的キーワード、あとは要点を中心に理解すること。

内閣	経済	外交
《 》	震災手形処理問題 1926 加藤が病死、同年末に昭和	日ソ基本条約 1925
1926(昭和元) 第1次 《 》	要点① 【 】1927の発生 →【 】蔵相の失言 ⇒取り付け騒ぎの発生 【 】の倒産 ⇒【 】の経営危機 【 】【議長.....」 で否決され救済に失敗⇒辞職	蒋介石の【 】1926～⇒ 中国統一へ 協調外交 ⇒外相 【 】【 ⇒中国内政不干涉の方針、政 友会などの批判

センター日本史ファイナル

Pain is inevitable Suffering is optional

【近代12】(2009年・本)軍縮の展開。1. 国策の手段としての戦争の放棄を約した不戦条約に調印した。2. 補助艦の総保有量(トン数)を英・米の約7割とすることに合意した。3. 主力艦保有量(トン数)を英・米の5分の3に制限することに合意した。

【近代12 解答】 [3→1→2] 3. 高橋是清内閣の時、ワシントン海軍軍縮条約(1922)で主力艦の保有制限に合意した。1. 田中義一内閣の時、パリで不戦条約に調印した(1927)。2. 浜口雄幸内閣の時、ロンドン海軍軍縮条約(1930)で補助艦の保有制限に合意した。

【近代13】(2010年・本)政商の成長。1. 開拓使官有物払下げが批判を招き、中止された。2. 前蔵相と三井財閥の幹部が、血盟団員に殺害された。3. 三菱の岩崎弥太郎が、台湾出兵の際に軍事輸送を請け負った。

【近代13 解答】 [3→1→2] 3. 岩崎弥太郎は明治初期の台湾出兵(1874)の軍事輸送で三菱の基礎を築いた。1. 開拓使長官黒田清隆の政商五代友厚への官有物払い下げが問題となり、明治十四年の政変につながった。2. 血盟団事件(1932は昭和初期で犬養毅内閣の時)。

昭和恐慌と協調外交の挫折

●浜口雄幸内閣…立憲民政党(1927、憲政会と政友本党の合同)

経済の再建⇒【井上準之助】蔵相、協調外交の復活⇒【幣原喜重郎】外相
慢性不況の原因⇒1917年より金輸出禁止が続く⇒為替相場が不安定(円安)
⇒国際競争力の不足⇒輸入超過が続く

経済	井上財政⇒【デフレ】政策 【緊縮財政】…物価の引き下げ、【産業合理化】…国際競争力の強化 【金輸出解禁(金解禁)】1930…為替相場の安定をはかる 旧平価(100円=49.85ドル)で解禁⇒円高となる
	【昭和恐慌】の発生 原因…【世界恐慌】1929～アメリカより、金解禁で円高⇒輸出は停滞 企業の操業短縮・倒産、失業者の増大 ⇒【重要産業統制法】1931…不況カルテル結成の容認 農業恐慌 アメリカへの【生糸】輸出激減⇒原料の繭価の下落・出稼ぎ女工の失業 ⇒農家の収入減少 豊作貧乏 1930…米価下落、東北・北海道の凶作 1931 欠食児童や女子の身売りが続出

外交	幣原外交…【協調外交】 日中関税協定 1930…中国の関税自主権を認める 【ロンドン海軍軍縮条約】1930…全権【若槻礼次郎】 補助艦の保有制限⇒米英に対して総括約7割(大型巡洋艦は6割) 政府は調印にふみ切り、批准にも成功する 【統帥権干犯問題】…海軍軍令部・立憲政友会・右翼は条約調印を批判 ⇒浜口首相は右翼の青年に狙撃される 1930⇒第2次若槻礼次郎内閣
----	---

★頻出マスター 協調外交と強硬外交

【協調外交】 1924～27 1929～31	【幣原喜重郎】外相(憲政会、立憲民政党内閣の外相)による国際協調路線 対【中国】⇒内政不干涉 対【英米】⇒協調路線 1925 日ソ基本条約調印(ソ連との国交を樹立) 1930 【ロンドン海軍軍縮条約】調印(補助艦の保有量を決める) ⇒【統帥権干犯】問題起こる
【強硬外交】 (積極外交) 1927～29	【田中義一】内閣(立憲政友会)による中国への強硬路線 対【中国】⇒強硬路線 幣原外交を「軟弱外交」と批判 1927～28 3次にわたる⇒山東出兵 1927 【東方会議】(満蒙の日本権益を実力で守る方針を決定) 1927 【張作霖爆殺事件】により、1929年に田中義一内閣は総辞職 対【英米】⇒協調路線 1928 パリで不戦条約調印